

研究会委員の主な研究業績

(2010年4月1日から2011年3月31日までに発表のもの、5点以内)

服部 正治

- (研究ノート) 「自由貿易国民」の興隆と解体 (下) F. トレントマン 『自由貿易国民』(2008) に寄せて」 『立教経済学研究』64巻2号, 2010年10月
- (その他) 『小林昇著作目録』立教大学経済学研究会, 2010年10月

池上 岳彦

- (論文) “Back on the Agenda: Decentralization and the Japanese Political Economy” (with Andrew DeWit) *Social Science Japan Journal*, Vol.13 No.1, 2010年4月
- (論文) 「事業税の課税ベースについて」 『地方税』第61巻第5号, 2010年5月
- (共著) 「日本の社会保障」SGCIME編 『現代経済の解説』御茶の水書房, 2010年5月
- (その他) 「カナダにおける政府間財源移転の特徴と改革」 『会計検査研究』第42号, 2010年9月
- (論文) 「カナダの個人所得税における還付型税額控除」 『立教経済学研究』第64巻第3号, 2011年1月

岩崎 俊夫

- (著書) 『社会統計学の可能性 - 理論・行政評価・ジェンダー』法律文化社, 2010年10月
- (論文) 「自治体の総合計画・行政評価における数値目標 問われるその意義と役割」 『研究所報』(法政大学・日本統計研究所)40号, 2010年9月

北原 徹

- (論文) 「サブプライム金融危機と証券化のリスク分担機能」 『証券経済学会年報』第45巻, 2010年7月
- (論文) 「欧州銀行とシャドールバンキング」 『SFJ 金融・資本市場研究』第2号, 2010年10月
- (学会発表) 「金融システムの市場化とサブプライム金融危機」証券経済学会(明治大学), 2010年6月

老川 慶喜

- (その他) 『京阪百年』(監修・共著) 京阪電鉄株式会社, 2011年3月
- (その他) 『両大戦間期の都市交通と運輸』(編著) 日本経済評論社, 2010年12月
- (研究ノート) 「台湾鉄道をめぐる「官設論」と「民設論」」『立教経済学研究』第64巻第4号, 2011年3月
- (共著) 「後藤新平」「根津嘉一郎」小池滋・他編『日本の鉄道をつくった人たち』悠書館, 2010年6月
- (書評) 「斎藤康彦著『地方財閥の近代 甲州財閥の興亡』(岩田書院)」日本歴史学会『日本歴史』第749号, 2010年10月

大友 敏明

- (書評) 「小池田富男『貨幣と市場の経済思想史 イギリス近代経済思想の研究』(流通経済大学出版会, 2009年)」経済学史学会編『経済学史研究』第52巻第1号, 2010年7月

櫻井 公人

- (共著) 「1.3 グローバリゼーションと金融のメルトダウン (第1章グローバリゼーションをどうとらえるか)」石田修, 板木雅彦, 櫻井公人, 中本悟編『現代世界経済をとらえる ver. 5』東洋経済新報社, 2010年4月
- (共著) 「人の移動とグローバリゼーション 構造化を促す舞台裏の推進力」石田修, 板木雅彦, 櫻井公人, 中本悟編『現代世界経済をとらえる ver. 5』東洋経済新報社, 2010年4月
- (共著) 「金融グローバリゼーションと『カジノ資本主義』 サブプライム問題の歴史的位相」馬田啓一, 木村福成, 田中素香編『検証・金融危機と世界経済 危機後の課題と展望』勁草書房, 2010年7月
- (論文) 「グローバリゼーションと経済政策」『立命館経営学』第48巻第4号, 2009年11月
- (翻訳) マンフレッド・スティーガー (櫻井公人, 櫻井純理, 高嶋正晴訳) 『新版 グローバリゼーション』岩波書店, 2010年3月
- (翻訳) ロナルド・マンク (櫻井公人, 高嶋正晴, 藤田悟訳) 『現代マルクス主義のフロンティア』萌書房, 2010年3月
- (その他) 「グローバリゼーションの20年」「大恐慌」小学館クリエイティブ編『大転換期を読み解く情報世界地図』小学館クリエイティブ, 2009年4月
- (その他) 「グローバリゼーションの論じ方 訳者解説に代えて」マンフレッド・スティーガー (櫻井公人, 櫻井純理, 高嶋正晴訳) 『新版 グローバリゼーション』岩波

書店, 2010年3月

小澤 康裕

(研究ノート) 「発話プロトコル法による監査判断研究」『立教経済学研究』第64巻第3号,
2011年1月

坂本 雅士

(論文) 「IFRS 導入と税務法制 確定決算主義の視点から」『税務弘報』第58巻第13号,
2010年10月

(その他) 「有形固定資産の会計と税務 IAS16号を中心に」『租税研究』第735号, 2011
年1月

(学会発表) 「法人税法における損金不算入等の規定の総合的検討」税務会計研究学会第22回
大会(明治大学), 2010年10月

(その他) 「IFRS 導入と法人税制 確定決算主義の視点から」税大ランチミーティング,
国税庁5階 第二会議室(千代田区霞が関3-1-1), 2010年10月

關 智一

(論文) 「日本製造業の『ものづくり』の優位性への再検討 - 設計品質における“市場ニ
ーズとの乖離”をめぐって」東洋大学・経営力創成研究センター『経営力創成研
究』第7号, 2011年3月

(学会発表) 「グローバル R&D 研究の現況と課題 - 多国籍企業17社の R&D 拠点のロケーシ
ョン分析を中心に」多国籍企業学会・東部部会(二松学舎大学), 2010年4月

(学会発表) 「グローバル R&D の現況とその研究課題」国際ビジネス研究学会・関東部会
(早稲田大学), 2010年4月

(学会発表) 「海外展開による中小企業の“経営革新”への再検討 - 国内金型メーカーの技術
流出問題を事例に」日本経営学会第84回大会(石巻専修大学), 2010年9月

関口 智

(論文) 「クリントン政権期以降の医療保険と税制・会計」渋谷博史・塙武郎編『アメリ
カ・モデルとグローバル化』昭和堂, 2010年4月

(論文) 「相続税・贈与税の理論的基礎 - シャープ勧告・ミード報告・マリーズレビュー
」日本税務研究センター『税研』第25巻第6号, 2010年5月

(その他) 「日本の法人税の現状と改革の方向性について」生活経済研究所『日本の税制,
どうかえるか?』『生活研ボックス』No31, 2010年7月

- (論 文) 「年金制度に対する租税論の分析視角 公的年金税制を意識して」年金シニアプラン総合研究機構 『年金と経済』第29巻第4号, 2011年1月
- (論 文) 「戦後日本の法人税制の分析視角」立命館大学経済学会 『立命館経済学』第59巻第6号, 2011年3月

田中聡一郎

- (著 書) 「課税最低限と社会保障」駒村康平編 『最低所得保障』岩波書店, 2010年4月
- (共 著) 「生活保護受給世帯のストック・フロー分析」『三田学会雑誌』第103巻第4号, 2011年1月
- (共 著) 「資産の考慮による要保護世帯率の変動 保護率の地域差と資産保有の関係」『三田学会雑誌』第103巻第4号, 2011年1月
- (共 著) 「給付つき税額控除と子ども手当の貧困削減効果 - マイクロシミュレーションによる分析」『貧困研究』第5号, 2010年11月
- (共 著) 「貧困基準の重なり - OECD 相対的貧困基準と生活保護基準の重なりと等価尺度の問題」『貧困研究』第4号, 2010年5月

谷ヶ城秀吉

- (論 文) 「戦時経済下における国策会社の利益確保行動 台湾拓殖を事例に」『日本植民地研究』第22号, 2010年6月
- (論 文) 「20世紀初頭における台湾 中国間経済関係の展開 烏龍茶輸出貿易の変容を事例に」『立教経済学研究』第64巻第1号, 2010年7月
- (論 文) 「戦間期における台湾米移出過程と取引主体」『歴史と経済』第208号, 2010年7月
- (そ の 他) 「『帝国』内市場における総合商社の活動と競争構造」立教大学経済学部・国立台北大学人文学院共催国際シンポジウム 『植民地台湾の経済発展と市場の生成』, 2010年12月
- (そ の 他) 老川慶喜・須永徳武・谷ヶ城秀吉 「植民地台湾の経済発展と市場の生成」『立教経済学研究』第64巻第4号, 2011年3月